



HP Device Manager4.7 SP10

基本操作説明書

2018年11月

目次

はじめに	2
1. デバイスの検出	2
2. HPDM コンソール	4
3. 手動タスクの送信	5
4. デバイス資産情報の取得	8
5. HP Update Center からのタスク のインポート	9

はじめに

本資料では HP Device Manager4.7SP10 の基本的な操作方法を説明します。

- デバイスの検出
- 手動タスクの送信
- デバイス資産情報の取得
- タスクのインポート

1. デバイスの検出

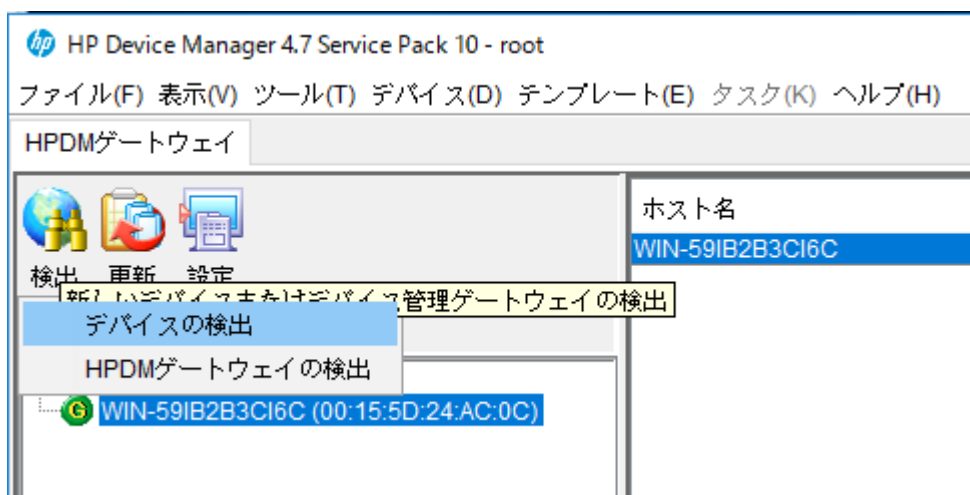
HP シンククライアントは毎回起動時に、次の 5 つの方法を使用して HPDM エージェントが HPDM ゲートウェイを探し出し、アクセスを試みます。初めて HPDM ゲートウェイに接続された時に HPDM サーバーに登録されます。

- シンククライアント側に最後に接続した HPDM ゲートウェイのアドレスの情報がある場合、その HPDM ゲートウェイに接続を試みます。
- 最後に接続した HPDM ゲートウェイへの接続に失敗した場合、HPDM エージェントにバックアップゲートウェイの設定がされていれば、次にその HPDM ゲートウェイに接続を試みます。
- DHCP のオプション 202 に設定された HPDM ゲートウェイに接続を試みます。
- DNS のエイリアス “hpdm-gateway” に設定された HPDM ゲートウェイに接続を試みます。
- シンククライアントと同じサブネット内をブロードキャストして HPDM ゲートウェイを探し出して接続を試みます。

1-1. デバイスの手動検出

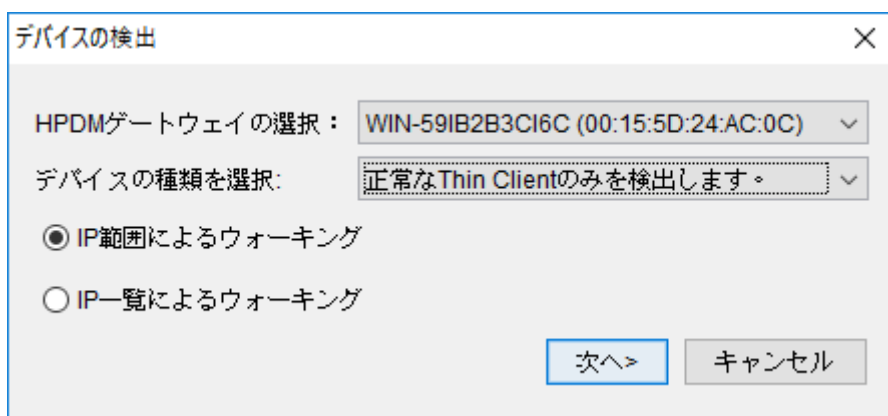
HPDM コンソールからデバイスを手動で検出する方法を説明します。

1. HPDM コンソールにログインし、“HPDM ゲートウェイ” タブをクリックします。
2. HPDM ゲートウェイのアイコン (G のアイコン) を右クリックし、“デバイスの検出” を選択します。

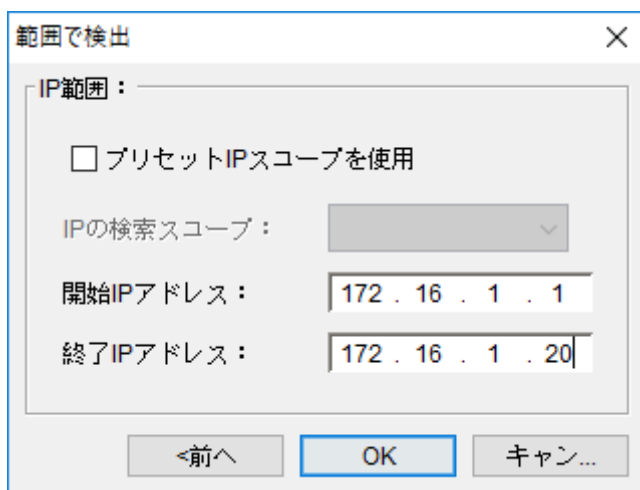


3. デバイスの検出ダイアログで、デバイスの種類を選択に“正常な Thin Client のみを検出します”を選択します。
4. “IP 範囲によるウォーキング”または“IP 一覧によるウォーキング”のどちらかを選び“次へ”をクリックします。以下の例では“IP 範囲によるウォーキング”を選択した場合について説明します。

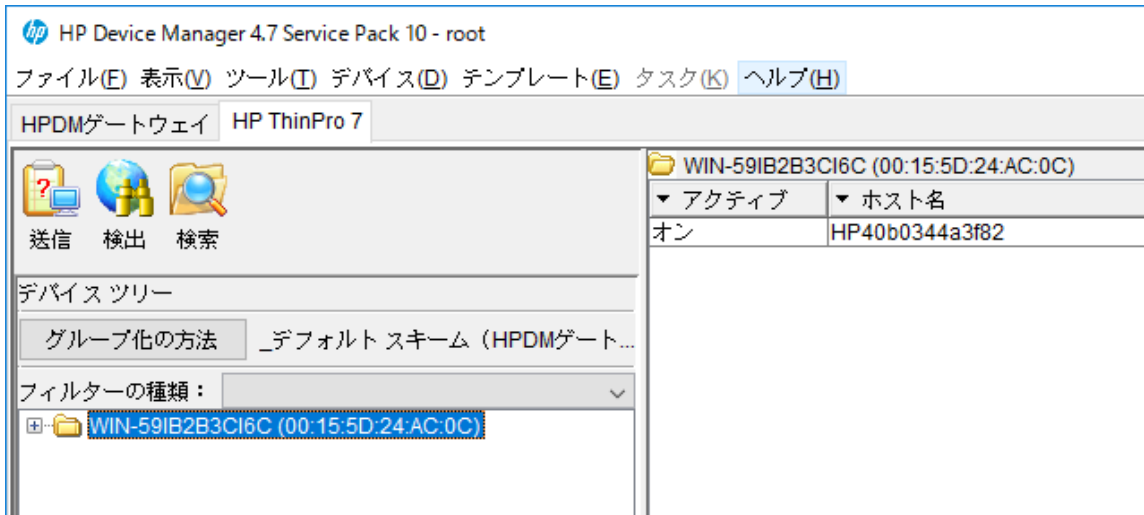
※IP 範囲によるウォーキングでは任意の IP アドレスの範囲を指定してデバイスを検出できますが、指定した IP 範囲内のデバイスの検出に失敗する場合があります。その場合、デバイスが検出されるまでデバイスの検出を繰り返し実行してください。



5. 開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力して“OK”をクリックします。

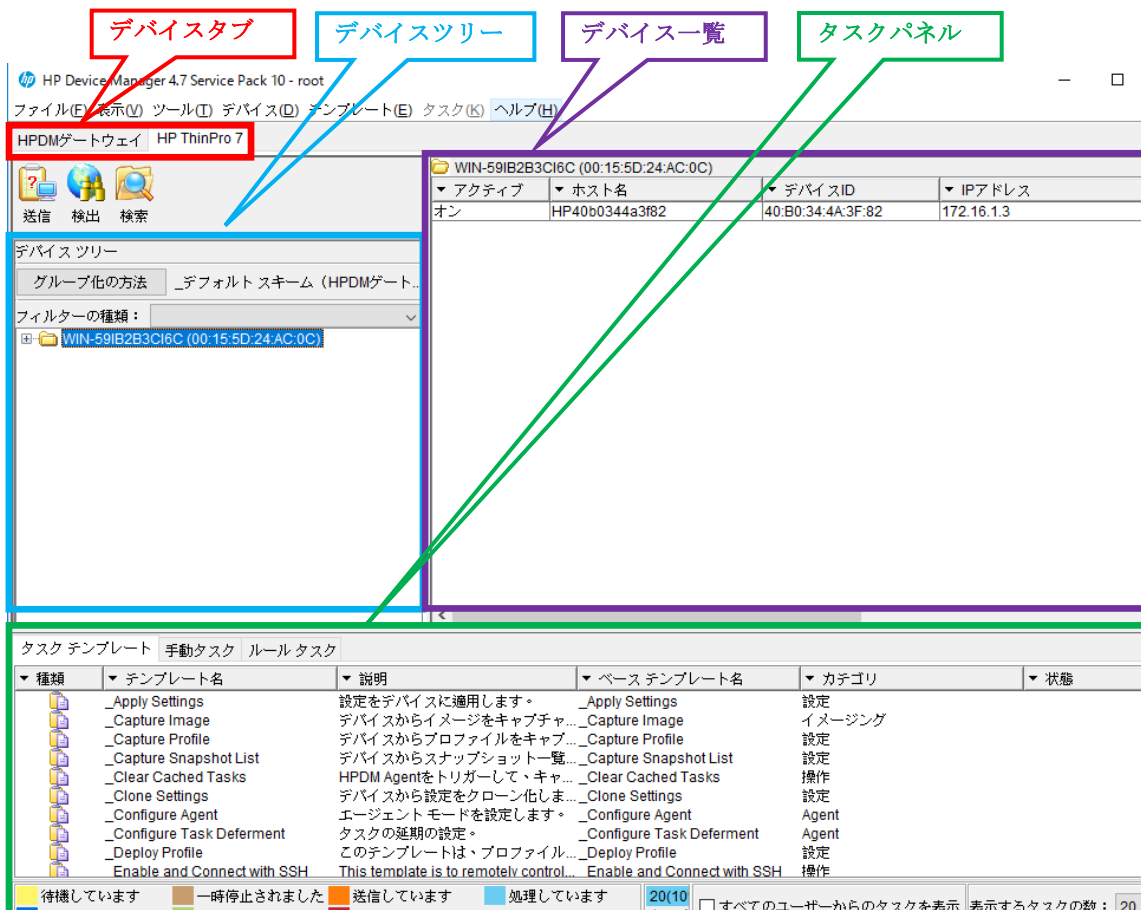


6. デバイスが検出されると、HPDM コンソールにデバイスの OS の種類ごとのタブがされ、そのタブの中にデバイスが表示されます。



2. HPDM コンソール

ここでは HPDM コンソールの構造について説明します。



“デバイスタブ”

管理対象となるデバイスの分類（シンクライアントの OS または HPDM ゲートウェイ）ごとにタブを切り替えて内容を表示するようになっています。

“デバイスツリー”

デバイスタブで選択したデバイスの分類ごとのデバイスがグループ（フォルダ）表示されます。グループ化の方法は設定変更する事が可能です。

“デバイス一覧”

デバイスツリーで選択したグループ（フォルダ）に所属するデバイスの、以下の情報が一覧表示されます。

“アクティブ”、“ホスト名”、“デバイスID”、“IP アドレス”、“エージェントのバージョン”、“デバイスの種類”、“OS の構成”

※表示する情報は表示項目を右クリックして表示されるメニューから変更可能です。

“タスクパネル”

タスクパネルでは、デバイスタブで選択したデバイスの分類ごとのタスク関連の項目が以下の3つのタブ切り替えで表示されます。

“タスクテンプレート”タブではタスクテンプレートの一覧が表示されます。タスクテンプレートとは、HPDM が行う管理操作の内容を定義しているもので、カテゴリごとに分類されています。

タスクテンプレートはそのままの状態デバイスに送信して実行できるものと、送信するためにはオリジナルのタスクテンプレートを編集して詳細情報を入力する必要があるものがあります。編集したタスクテンプレートは、名前を付けて保存しておく事ができます。

”手動タスク”と”ルールタスク”タブではそれぞれ送信したタスクのステータスを確認する事ができます。

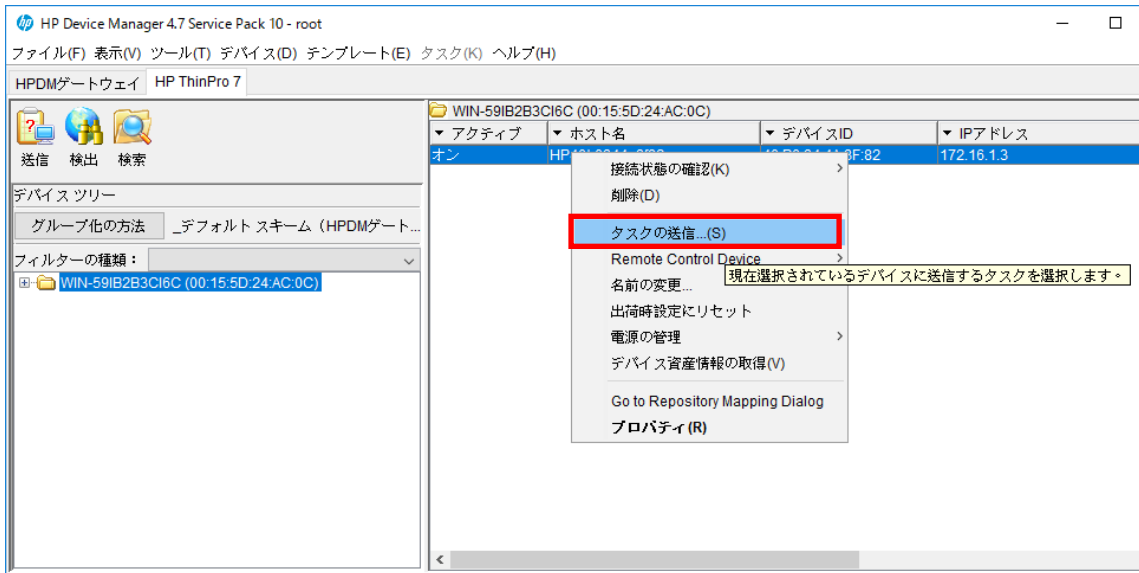
3. 手動タスクの送信

ここでは手動タスクの送信方法を説明します。

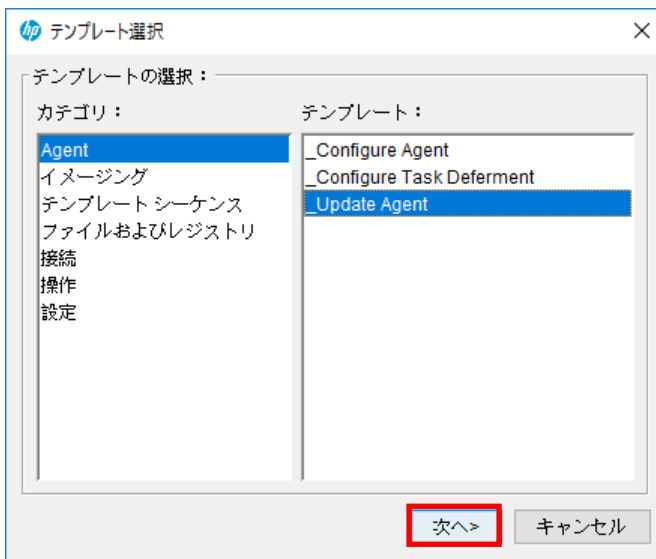
以下の例では HPDM エージェントを HPDM サーバーに対応するバージョンにバージョンアップするための Update Agent タスクテンプレートを送信します。HPDM サーバーと HPDM エージェントのバージョンが異なる場合、送信するタスクの種類によってはタスクが失敗する場合がありますので Update Agent タスクを実行して HPDM エージェントを HPDM サーバーに対応するバージョンにバージョンアップしておく事をお勧めします。

1. HPDM コンソールのデバイス一覧から対象のデバイスを選択し、右クリックで表示されるメニューから“タスクの送信”を選択します。

※ デバイスツリー内のフォルダを選択してタスクを送信する事もできます。



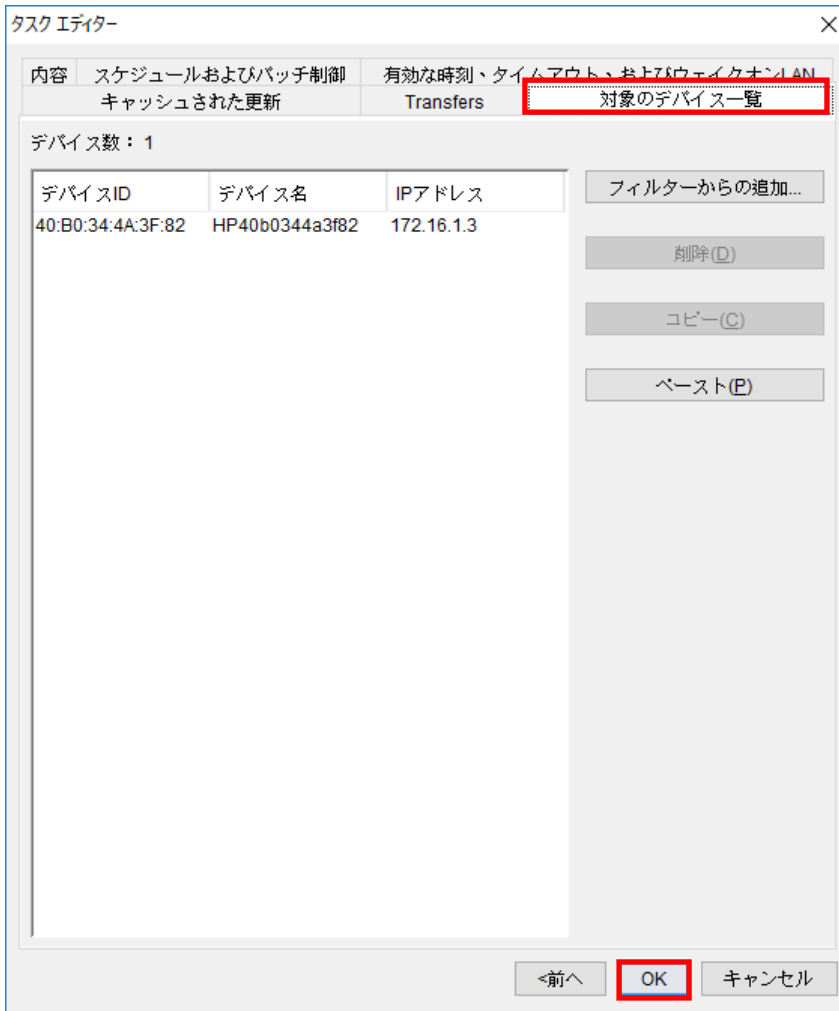
2. 送信したいタスクテンプレートのカテゴリを選択し、テンプレートの一覧から対象のテンプレートを選択して“次へ”をクリックします。



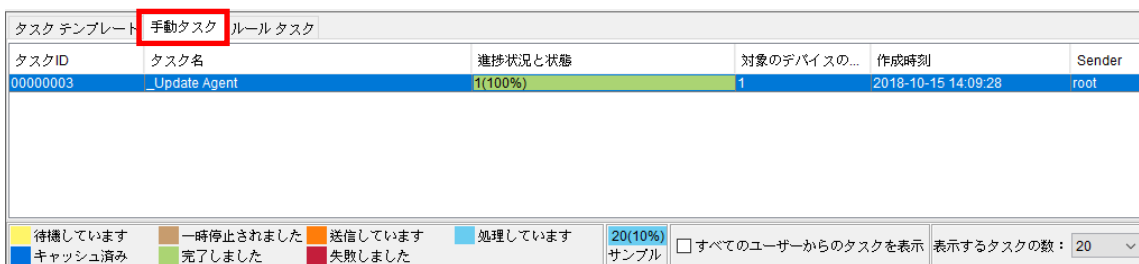
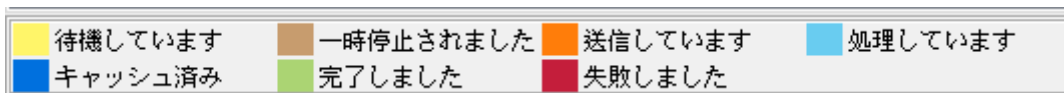
3. タスクエディターが表示されます。内容タブではテンプレートの内容を確認できます。



- 対象のデバイス一覧タブではタスクテンプレートを送信する対象のデバイスを確認できます。
- “OK” をクリックするとタスクが送信されます。



- タスクの送信後、HPDM コンソールのタスクパネルの“手動タスク”タブをクリックするとタスクの状態を表示される色で確認する事ができます。



ヒント: タスクを対象のデバイスに送信する前に、ここでタスクを編集できます。

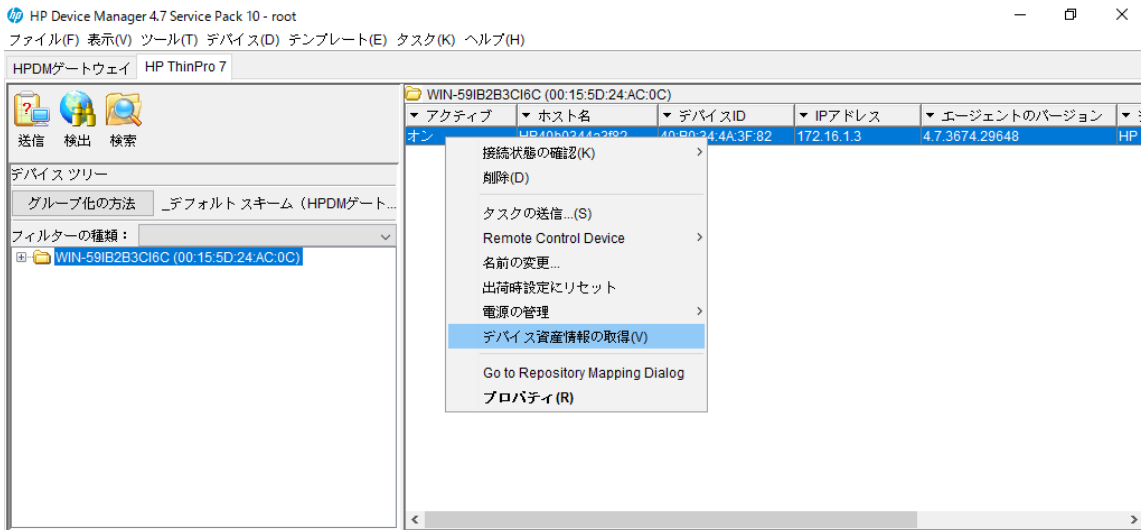
デバイス (アクティブ合計) : 0/1

4. デバイス資産情報の取得

デバイスのホスト名、シリアル番号、MAC アドレス、IP アドレス等の全般情報については HPDM にシンクライアントデバイスが登録された時点で自動的に取得されます。デバイスにインストールされているソフトウェアやそのバージョンなどの詳細情報を取得したい場合はデバイス資産情報の取得（_Get Asset Information タスク）を実行します。以下の例では右クリックメニューからデバイス資産情報の取得を実行する方法を説明します。

1. HPDM コンソールのデバイス一覧から対象のデバイスを選択し、右クリックで表示されるメニューから“デバイス資産情報の取得”を選択します。

※ デバイスツリー内のフォルダを選択してタスクを送信する事もできます。



2. タスクエディターで“OK” をクリックして対象のデバイスにタスクを送信します。
3. タスクが完了したら、HPDM コンソールのデバイス一覧から対象のデバイスを選択し、右クリックで表示されるメニューから“プロパティ”を選択します。
4. デバイスのプロパティでソフトウェアを選択すると、インストールされているソフトウェアおよびバージョンを確認する事ができます。

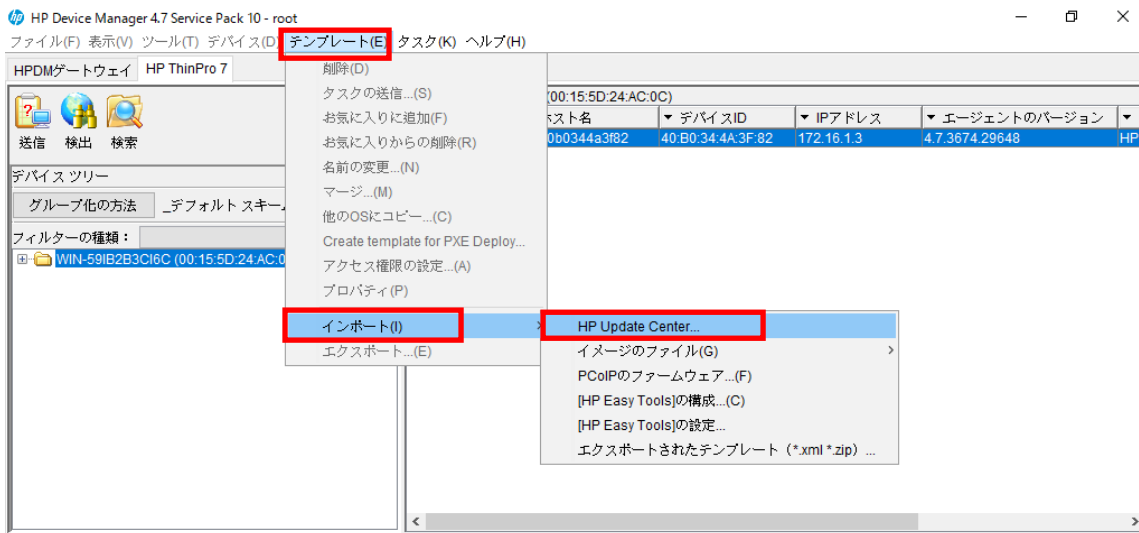


5. HP Update Center からのタスクのインポート

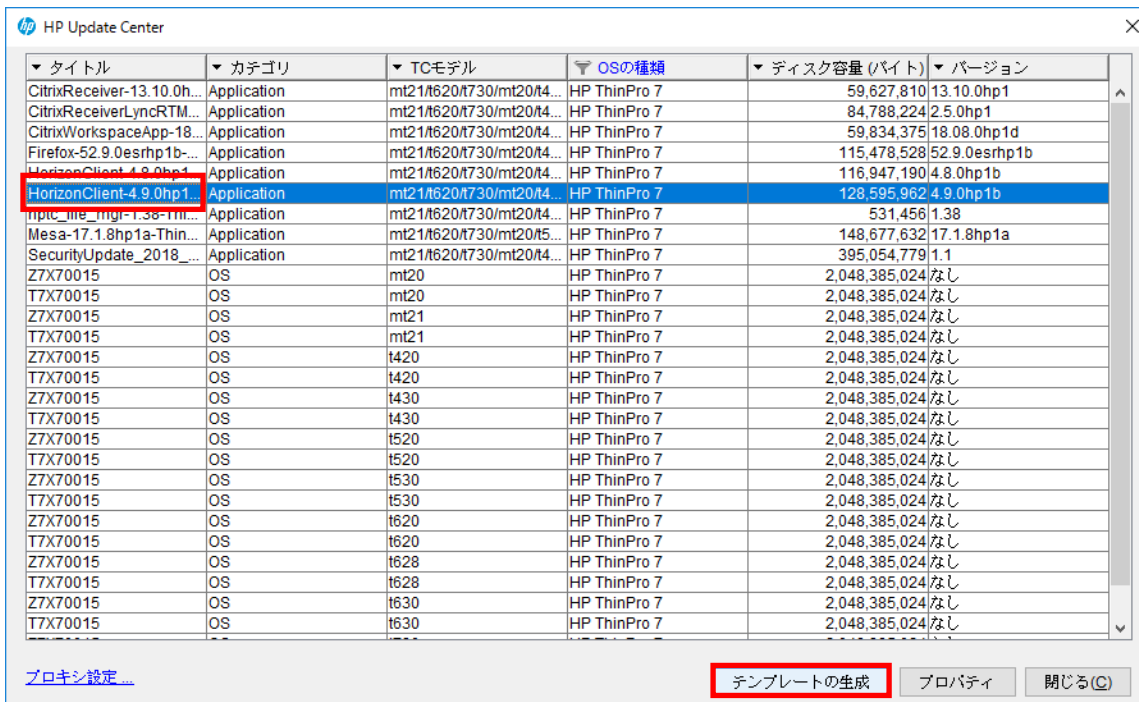
Citrix Receiver や Vmware Horizon View Client などのアプリケーションの新しいバージョンをインストールするためのアドオンや新しいバージョンの OS イメージを HP Update Center から HP Device Manager のタスクテンプレートとしてインポートする事ができます。この操作を実行するにはインターネットへの接続環境が必要となります。

以下の例では Horizon Client のアドオンをインストールするタスクをインポートします。

1. HPDM コンソールから “テンプレート” → “インポート” → “HP Update Center” をクリックします。



2. HP Update Center で対象のアドオンや OS を選択して、“テンプレートの生成” をクリックします。



3. パッケージの説明エディターで“生成する”をクリックします。

パッケージの説明エディター

種類: add-on

タイトル: HorizonClient-4.9.0hp1b-ThinPro-7.0

インストールサイズ (バイト): 128,595,962

アーキテクチャ: x64

OSの種類: HP ThinPro 7;

Thin Clientモデル: mt21,t620,t730;mt20,t430,t520,t630,t420,t530,t628

説明: VMware Horizon Client 4.9.0 for ThinPro 7.0

生成する キャンセル

4. Select OS Tab でタスクプレートを生成する OS タブを選択し、“OK”をクリックします。

Select OS Tab

Please select OS Tab to generate templates.

Select OS Tab

HP ThinPro 7

OK キャンセル(C)

5. テンプレートの生成で“OK”をクリックします。

テンプレートの生成

以下のテンプレートが正常に生成されました:
Add HorizonClient-4.9.0hp1b-ThinPro-7.0 under OS Tab HP ThinPro 7.

OK

6. 選択した OS タブのタスクパネルに選択したアドオンや OS をインストールするためのタスクテンプレートが生成されます。

HP Device Manager 4.7 Service Pack 10 - root

ファイル(E) 表示(V) ツール(T) デバイス(D) テンプレート(E) タスク(K) ヘルプ(H)

HPDMゲートウェイ HP ThinPro 7

送信 検出 検索

WIN-591B2B3CI6C (00:15:5D:24:AC:0C)

▼ アクティブ	▼ ホスト名	▼ デバイスID
オン	HP40b0344a3f82	40:B0:34:4A:3F:82

デバイス ツリー

グループ化の方法 _デフォルト スキーム (HPDMゲート...

フィルターの種類 :

WIN-591B2B3CI6C (00:15:5D:24:AC:0C)

タスク テンプレート 手動タスク ルール タスク

▼ 種類	▼ テンプレート名	▼ 説明	▼ ベース テンプレート名
	_Set OS Configuration	OSの構成を切り替えます。	_Set OS Configuration
	_Set Password	デバイスのユーザー パスワードを設...	_Set Password
	_Shadow Device	VNCでデバイスをリモート制御しま...	_Shadow Device
	_Shutdown Device	デバイスをシャットダウンします。	_Shutdown Device
	_Template Sequence	シーケンスのテンプレート。	_Template Sequence
	_Update Agent	エージェントのバージョンを更新し...	_Update Agent
	Wake Up Device	デバイスに対してウェイク オンLAN...	_Wake Up Device
	HorizonClient-4.9.0hp1b-ThinPro-...	カスタマイズされたファイル、レジ...	_File and Registry

待機しています 一時停止されました 送信しています 処理しています 20(10%) サンプル すべてのエ

キャンセル済み 完了しました 失敗しました

ヒント:タスクを対象のデバイスに送信する前に、ここでタスクを編集できます。

本書の取り扱いについて

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、該当製品およびサービス保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

この文書の著作権は株式会社 日本 HP に帰属します。日本 HP の許可なく一部または全体の複製・転載・編集等を行うことや、許可されていない第三者への開示等の行為全てを禁止します。

本文中使用される企業名、製品名、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。

© 2018 HP Japan Inc.

HPシンクライアントに関する情報

<http://www.hp.com/jp/thinclient>

© Copyright 2015 HP Japan Inc. The information contained herein is subject to change without notice. The only warranties for HP products and services are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty. HP shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein.

Trademark acknowledgments, if needed.

October 2018

